記事掲載

伸縮自在で利便性向上

オーニング開閉操作ハンドル

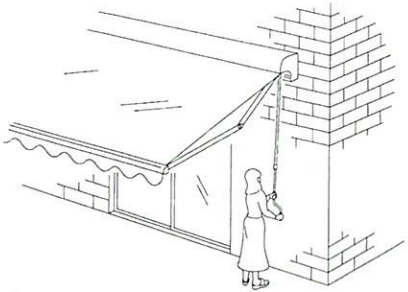
笑和（福岡）の牧嶋社長が特許取得

㈱笑和（福岡県みやま市瀬高町）の牧嶋康雄社長は、オーニング（日除けテント）の開閉操作用ハンドルで特許を取得した。

主に商業施設のオーニングは、ビルや建物の構造によって、取り付ける場所（高さ）はまちまちである。場合によっては相当高い位置に取り付けを求められるケースもあり、それが手動オーニング（日除けテント）であれば、開閉操作用ハンドルは長いものが要求される。

特許を取得したのは伸縮自在の開閉操作用ハンドル。エンドユーザーが操作し易い長さの設定が自由にでき、オーニングの操作性を改善することが目的である。通常メーカー側は、違う長さの3種類ほどのハンドルを用意するが、これなら1本で済み、在庫負担も軽減できる。希望する企業があれば商品化に乗り出す。

問い合わせは㈱笑和（TEL 0944－62－3868）牧嶋社長まで。



特許を取得したオーニング開閉操作ハンドルイメージ

ークショップの

として各方面から高い注目と関心を集め、実行委員会の事前予想（30万人）を大幅に上回る約93万人の集客に成功、経済波及効果は約億円と事前予想の50天幅に上回った。同員会では、島々の更性化を目指しイベン年化を計画、「ARS ETOUCHI」と

した東京都在住のデーティスト・谷山恭子さんが参加し、カラフルなテント生地を利用したワークショップを開いた。豊島の〝島キッチン〟（※1）を舞台にしたことでテーマは〝エプロンづくり〟。前もって谷山さんら2人が「遊び心のあるデザイン」と「農作業などに便利な実用性のあるデ